

第5回 北陸における空き家対策に関する情報交換会 開催結果

1. 開催趣旨

全国的に適切に管理されていない空き家が増大し、豪雪による倒壊危険、景観上の支障、中心市街地活性化の阻害、住環境の悪化等の問題が顕在化している。北陸地方整備局では、各地の実情に応じた対策を推進するため、H24年度から管内自治体を集めた空き家対策に関する情報交換会を開催している（H24年7月に1回目、H25年11月に2回目、H26年8月に3回目、H27年11月に4回目の会議を開催）。

2. 情報交換会概要

①本省からの情報提供

空き家対策に係る行政代執行および空家等対策計画の事例紹介等や空き家の発生を抑制するための税制の特例措置（空き家の譲渡所得の3,000万円特別控除）についての説明を行うとともに、各自治体からの質問に回答。

②各地方公共団体からの事例紹介

- ・妙高市（空き家等対策の取り組みと略式代執行について）
- ・十日町市（空き家再生等推進事業 移住希望者向け体験宿泊施設整備）
- ・金沢市（空き家等管理・活用推進協議会の取り組み）

③事前アンケートによる事例紹介、意見交換等

〈日 時〉平成28年10月19日（水）13:30～16:30

〈場 所〉上越市 あすとぴあ高田5階ミュゼ雪小町 ギャラリーA・B

〈参加者〉合計63名：新潟県（県 4名、19市町村 31名）（関係自治体からの参加者の内訳）

富山県（県 1名、6市 10名） ・ 建築住宅、建設関係 23名

石川県（県 1名、5市 7名） ・ 企画、危機管理関係 18名

国交省・北陸地整他 ・ 市民生活、環境関係 13名

〈意見交換・質疑応答〉

略式代執行の手続きや動産の取り扱い等についての意見交換や質疑応答があった。また、空き家を活用した体験宿泊施設の事例発表に対し、運営やPR方法、体験期間等についての質疑応答があった。



事例発表



意見交換